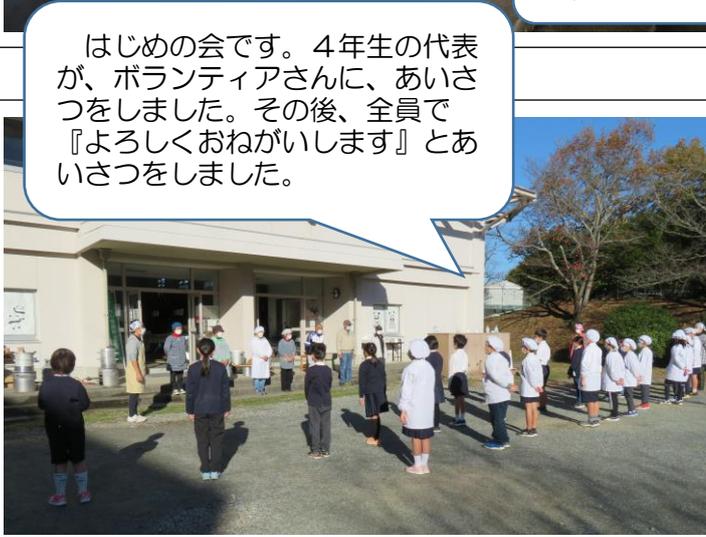


もちつきをしました（4年生）

11月25日（金）に、4年生が、環境体験学習としてもちつきを行いました。
 もち米は、子どもたちが6月に田植えをし、10月に稲刈り・脱穀をしたお米です。
 今回は、新型コロナウイルス感染防止対策の関係で、4年生が代表で行いました。
 地域のボランティアさんのご協力により、昔ながらの臼と杵を使ったもちつきを行うことができました。子どもたちは、貴重な体験をすることができました。



食中毒防止対策として、念入りに熱湯消毒を行いました。



はじめの会です。4年生の代表が、ボランティアさんに、あいさつをしました。その後、全員で『よろしくおねがいします』とあいさつをしました。



もち米が蒸し上がりました。いよいよもちをつきます。



最初は、杵でもち米をつぶしていきます。



子どもたちは、10回ずつもちをついて交代しました。杵を振り上げておろすという作業が難しかったようですが、回を重ねるごとに、上手にもちをつくことができました。最後の仕上げは、ボランティアさんの力をかりました。



さすがはボランティアさんです。もちをつく音が違いました。ペッタン、ペッタン…と、とても迫力のあるもちつきの音でした。



ボランティアさんによるもちつきの仕上げです。



もちがつきあがりしました。次は、もちをまるめます。4年生は、一人につき4つ（自分の）もちをまるめます。



今年度は、4年生25人を2つのグループに分けて、前半と後半でもちつきを行いました。子どもたちは、食中毒や新型コロナウイルスの感染防止に対して、約束をしっかりと守りながらもちつきに参加できました。